

# 北川漁協が受賞

— 第38回全国豊かな海づくり大会 高知 —

## 漁業発展と環境保全に功績

河川環境保護活動を継続して実践している延岡市の北川漁業協同組合(長瀬一己組合長)が10月28日、高知県で開催された「第38回全国豊かな海づくり大会」において、漁業発展と環境保全の功績をたたえる水産庁長官賞を受賞した。

北川漁協は、北川河川流域の森林保全を目的とした「水を守る森を残そうかい」、アユの育ちや水環境を整備する「マイストーン作戦」、自然環境保護の意識高揚を図る「川舟ホタル観賞会」など多彩な啓発イベントを企画実行しているのをはじめ、全国各地の河川に携わる人々が集まる年2回の環境保全勉強会を開催

している。

大会には長瀬組合長と井本厚徳専務が出席。表彰式では天皇、皇后両陛下ご臨席の下、長谷成人水産庁長官から賞状が贈られた。

長瀬組合長は「当組合

の活動が認められたことがうれしい。改めて私たちは北川の豊かな自然に恵まれているということを実感しています」と喜びを語った。

同大会は天皇、皇后両陛下が出席する毎年恒例の地方公務員「三人行幸啓」の一つ。水産資源の保護や環境保全の大切さを広く国民に伝え、漁業の振興と発展を図ることを目的に昭和56年から開かれている。

大会前日のレセプション

で、皇后陛下と直接会っていただきました。西陛下のご臨席は今回が最後ということもあって特に長瀬組合長は「北川の生態系やホタルの保護活動などについて説明させていただきます」と話した。



水産庁長官賞を受賞した北川漁業協同組合の長瀬一己組合長(右)と井本厚徳専務(提供写真)